

# 秋田市立日新小学校改築基本・実施設計業務委託に関する公募型プロポーザル 技術提案書評価要領

## 1 事務所の実力

- (1) 事務所の資格別技術者数  
下表により評価する。

評価基準	換算係数
換算技術者数 6人以上	1.0
換算技術者数 3人以上6人未満	0.6
換算技術者数 3人未満	0.2

ここで、  
換算技術者数 =  $\Sigma$  (各分野における技術者数 × 下表により算出した換算係数)

分野	評価する技術者資格	換算係数	
		自事務所所属	協力事務所所属
建築	一級建築士	1.0	0.75
	二級建築士	0.4	0.3
	建築積算資格者	0.4	0.3
	その他	0.2	0.15
電気設備	建築設備士 技術士 一級建築士	1.0	0.75
	一級電気工事施工管理技士	0.4	0.3
	二級電気工事施工管理技士	0.2	0.15
	その他	0.2	0.15
機械設備	建築設備士 技術士 一級建築士	1.0	0.75
	一級管工事施工管理技士	0.4	0.3
	二級管工事施工管理技士	0.2	0.15
	その他	0.2	0.15

- (2) 事務所の主要業務実績  
主要業務実績について、件数、出来映えを総合的に評価する。  
その際、受注形態、施設概要、設計コンセプト等も考慮する。

過去の業務実績	換算係数
優れた業務実績がある	1.0
普通の業務実績がある	0.6
業務実績に問題がある	0.2

- (3) 事務所の同種・類似業務実績  
類似業務実績について、件数、出来映えを総合的に評価する。  
その際、業務の受注形態、施設概要、設計コンセプト等も考慮する。

過去の業務実績	換算係数
優れた類似業務実績がある	1.0
普通の類似業務実績がある	0.6
類似業務実績に問題がある	0.2

## 2 担当チームの能力

- (1) 総括責任者の資格、経験年数  
下表により評価する。

換算経験年数（年）	換算係数
23 ～	1.0
18 ～ 22	0.9
13 ～ 17	0.7
～ 12	0.6

ここで、

換算経験年数 = 経験年数 × 1 (1) における技術者資格に応じた換算係数

- (2) 各担当主任技術者の資格、経験年数  
各担当主任技術者について、下記により評価する。

換算経験年数（年）	換算係数
13 ～	1.0
8 ～ 12	0.8
5 ～ 7	0.6
～ 5	0.5

ここで、

換算経験年数 = 経験年数 × 1 (1) における技術者資格に応じた換算係数

- (3) 各担当技術者の資格、経験年数  
2 (2) 各担当主任技術者の資格、経験年数と同様に評価する。

- (4) 総括責任者の業務実績  
総括責任者の業務実績について、件数、出来映えを総合的に評価する。  
その際、立場、施設概要、設計コンセプト等も考慮する。

過去の業務実績	換算係数
優れた業務実績がある	1.0
普通の業務実績がある	0.6
業務実績に問題がある	0.2

- (5) 建築担当主任技術者の業務実績  
建築担当主任技術者の業務実績について、件数、出来映えを総合的に評価する。  
その際、立場、施設概要、設計コンセプト等も考慮する。

過去の業務実績	換算係数
優れた業務実績がある	1.0
普通の業務実績がある	0.6
業務実績に問題がある	0.2

### 3 業務実施方針

提出された技術提案書、ヒアリングの内容をふまえ、下記により総合的に行う。

- (1) 業務への取組体制
- (2) 工程計画、動員計画
- (3) 設計上特に配慮する事項等

評価基準	換算係数
極めて優れている	1.0
優れている	0.8
普通	0.6
劣っている	0.4
極めて劣っている	0.0

### 4 課題に対する提案内容

下記の3点について、総合的に評価する。

的確性・・・余条件との整合がとれているか等、的確な提案がなされているか

独創性・・・工学的知見に基づく独創的な提案がされているか

実現性・・・提案が理論的に裏付けられており、説得力のある提案となっているか

- (1) 日新小学校の伝統と特徴をいかし、次の世代につなぐ学校を創造する提案について
  - ア 学校の教育目標である「日々に新たに！ 夢輝かせ たくましく生きる子どもの育成」に対する建築空間としてのとらえ方と具現化するための建築計画および敷地利用計画等に関する考え方
  - イ ICTを利用した少人数による指導など、多様な教育活動に柔軟に対応できる空間の工夫
  - ウ 新屋の歴史を学び地域のまちづくりに関わるための空間の考え方
- (2) 木造で建築する学校整備の考え方について
  - ア 木の魅力をいかした建築および具体的な工法
  - イ 長寿命化と維持保全計画に関する考え方
  - ウ 防耐火計画とコスト縮減に向けた方策
  - エ 地下水を利用している周辺の酒蔵や家屋に対する杭地業の工法
  - オ 木材調達のための協力体制等、業務の進め方に対する提案
- (3) 環境負荷低減を踏まえた設備機器の採用や、将来の設備（配管等を含む）改修に対して具体的な施設整備方針を提案すること。
- (4) 既存校舎を使用しながら改築を行うことから、事業計画内で実現可能な建替計画を示すと共に、工事中的児童の安全配慮や学校運営、周辺地域への配慮について提案すること。

評価基準	換算係数
極めて優れている	1.0
優れている	0.8
普通	0.6
劣っている	0.4
極めて劣っている	0.0

## 技術提案書評価表

提案者名			審査委員名			
			(a) 配点	(b) 係数	(a)×(b) 得点	備 考
<b>1 事務所の能力 ( 3点 )</b>						
(1) 資格別技術者数		1	●			様式 4
(2) 主要業務実績		1				様式 5
(3) 同種・類似業務実績		1				様式 6
<b>2 担当チームの能力 ( 15点 )</b>						
(1) 総括責任者の資格、経験年数		2	●			様式 9-①
(2) 各担当主任技術者の資格、経験年数						様式 9-①, ②, ③
建築担当		2	●			
構造担当		1	●			
積算担当		1	●			
電気担当		1	●			
機械担当		1	●			
(3) 各担当技術者の資格、経験年数						様式 9-④, ⑤
建築担当		1	●			
構造担当		0.5	●			
積算担当		0.5	●			
電気担当		0.5	●			
機械担当		0.5	●			
(4) 総括責任者の業務実績		2				様式10
(5) 建築担当主任技術者の業務実績		2				様式11
<b>3 業務実施方針 ( 10点 )</b>						
(1) 業務への取組体制		3				様式13, ヒアリング
(2) 工程計画、動員計画		3				様式13, ヒアリング
(3) 設計上特に配慮する事項等		4				様式13, ヒアリング
<b>4 課題に対する提案内容 ( 72点 )</b>						
(1) の課題について	ア	12				様式14, ヒアリング
	イ	6				
	ウ	6				
(2) の課題について	ア	9				
	イ	9				
	ウ	9				
	エ	3				
	オ	3				
(3) の課題について、同上		9				
(4) の課題について、同上		6				

●部分は事務局で記入